

# 川西能勢口駅前ペDESTリアンデッキを活用

## KAWANISHI EKIMAE PICNICMÄRCHÉ

川西駅前ピクニックマルシェ

出店登録応募数 合計93件(2021/2022年)

毎回15~20店の出店。飲食・雑貨・マッサージ体験など多様なお店に出会える場所となっています。

また、公募による音楽ステージ「駅前ステージ」は多数のアーティストに応募いただき、民族楽器演奏、ダンス、バンドまでたくさん出演者が駅前の風景を彩ってくれています。

<https://kawanishiekimaepicnic.amebaownd.com>



2020年に開始した社会実験「川西駅前ピクニックマルシェ」を継続しながら、ペDESTリアンデッキの利用ルールを検討。並行して協議会以外でデッキを利用する団体を募集し「hometown(主催:hometown 実行委員会)」「川西能勢口ジャック(主催:一般社団法人 FC SONHO 川西)」が新たにイベントを実施しました。

イベント日以外のぎわいの創出実験として「日常的な滞留」を増やすための屋外ファニチャーを設置する「駅前ピクニックテラス」を行いました。

### 市民活動団体が デッキを使用し イベントを開催

新たな2団体がペDESTリアンデッキを活用しイベントを行いました。



川西能勢口ジャック  
主催  
(一社)FC SONHO 川西

hometown  
主催  
hometown 実行委員会



### 手をつなぐ川西 光の和

約3か月の間、夜の駅前を彩るイルミネーションが設置されました。市内の高校生が設置ボランティアに参加し、多くの事業者の皆さんに協賛いただき、冬の駅前が明るく輝きました。



### はじまりの椅子づくり

「駅前ピクニックテラス」は日常的な滞留を増やすため、屋外ファニチャーの設置・出店の実験を行いました。

設置する椅子は、(株)坂井建築事務所の協力のもと、デッキに愛着を持つ人が増えてほしいと一般募集し、参加者でオリジナルの木の椅子18個を手作りしました。

開催期間中は「自分の椅子が気になって覗きにきた」「孫が作ったと聞いた」と製作参加者も椅子を見に来てくださいました。椅子は現在も駅前ピクニックマルシェなどで活用しています。



## 川西駅前ピクニックマルシェに関わる人の声

回を重ねる毎に、マルシェが川西の日常になっているのを感じます。毎月楽しみに訪れてくださる高齢者のかたもあり、顧客層の拡大をはじめ、広く色々な方と繋がれる事がプラスと なっています。



ソラカフェなないろじかん オーナー 二岡 美樹子 さん

毎月みんなが集まれて、歌える場所があることは、当たり前じゃないと感じています。自分の歌(hometown)でも、「まさかここがステージなるなんて」と歌詞に入っている川西能勢口駅前。大切さを噛み締めてこの先も歌い続けたいと思っています。



シンガーソングライター 金島 準一郎 さん

1年前からスタッフとして関わらせていただきました。出店者やステージの演者の方はもちろん、イベントへ参加する方もご縁がつながり、駅ピク以外の時で市内で会うとお話することも。生の音を聞きながら、スタッフのお仕事をできたのが幸せでした。中2の娘がイベントへお手伝いしにきてくれるようになりました。イベントスタッフの地道な努力を体験して駅ピクを通して職業体験ができ、一回りも二回りも成長しました。このような機会をいただけたことに感謝しています。



ピクニックマルシェスタッフ 名木田 絢子 さん

## 川西駅前ピクニックマルシェの経緯

2019年 通行量調査「まちなかウォッチャー」がスタート。川西市が道路占用の許可基準の緩和を実施。

2020年 それに伴い、通行量調査の結果を受けて「使用しても通行に影響が少ない部分」や「どのように使いたいか」の協議を重ね、駅とラソラ川西をつなぐ「川西能勢口駅北側デッキ(通称:Oデッキ)」と、駅と川西阪急・アステ川西側にある「川西能勢口駅南側デッキ(通称:Kデッキ)」にて駅前の活性化に向けた実証実験「駅前ピクニックマルシェ」を開催開始。

2021年 一般に出店事業者の募集を開始し、中心市街地活性化協議会が毎月「川西駅前ピクニックマルシェ」開催。

## 川西まちなかウォッチング

市民が調査員として参加する通行量調査を実施



令和4(2022)年度調査結果 速報値  
調査日/平日10/21(金)、休日10/22(土)9:00~20:00  
総通行量

平日:40,299人

うち歩行者:36,126人、自転車:4,173人(対前年増加率-1.1%)

休日:44,862人

うち歩行者:40,908人、自転車:3,954人(対前年増加率1.0%)

平日は調査地点6カ所中4カ所で通行量が減少。

休日は川西能勢口駅南デッキ/川西市役所前西側/総合体育館前西側などの地点で通行量が増加した。

また、まちなか実感調査(アンケート)では、回遊手段としての質問に対しシャトルバスやレンタル電動自転車のニーズや、滞留場所として「ベンチのある滞留空間がほしい」という声があがった。

調査結果については確定後、中心市街地活性化協議会HPに掲載します。<http://www.kawanishi-machi.com>

## 川西市役所南広場の活用

川西能勢口駅前とキセラ地区をつなぐ回遊性を高める検討の中で、中間地点にある川西市役所前の「南広場」の活用を実験的に行いました。



市産業振興課の協力のもと、2022年8月~2023年3月の間、月に1回南広場でキッチンカー約5台の出店を実施。

キッチンカーやテント販売については、藤ノ木さんかく広場で日常出店している事業者に協力いただきました。

市役所を訪れるたくさんの方が足を止めたり、近隣のかたがランチを購入しに来訪。

「ここでキッチンカーが利用できるのは便利」「にぎやかな風景で良い」といった声がありました。

また、近接した距離にありながら「藤ノ木さんかく広場」にキッチンカーが常時出店していることは知らなかった、といった声もあり、広場のカレンダーはインターネット上で確認できることなどを説明。さんかく広場の認知度向上につながる効果もありました。